

令和7年度 グループ発表の概要について（1班）

1班 齋藤光素さん

1班で出た意見は、主に4つあります。

まず初めに、東洋大学、あと北小、南小、あとは各地にある空き家の利活用ということで、これらをどうしたらいいかっていうことなんですけども、東洋大に関してはちょっとね、なかなか町自体が口を出せることではないんですけども、うまくできればここに防災省を誘致して、今後の防災の柱に中心地になったらいいなというところになってました。あとは空き家に関してはですね、やっぱり防災絡みなんですけど、今、北小とか各地に避難所あるんですけども、この空き家が万が一そういうことになったときにですね、避難の場所に使えないかとか、あとはペットを連れてきてもらったときに、やっぱりこの空き家がうまく利活用できれば、動物、人それぞれ全部がうまく避難できるんじゃないかっていうことで、まずまとまりました。

次に、町おこしということで何かできないかってことなんですけども、企業と積極的にコラボをやるとか、他の市町村との協力・連携を図るっていうことと、ふるさと納税を充実して特産品を活用してふるさと納税を充実していくっていう、ここに優良なコンサルタントなんかのご相談を受けたりして、積極的に実行していくのがいいんじゃないかということでもまとまりました。

3番目は、今後の農業ですね。後継者の問題と空いている休耕地、農地の利活用で外国人の方とかね、都会の方の体験農業を通したりとかして、あとはクラウドファンディングを活用したり、実際これやってるそうなんですけども、農業機械を購入してそれをしてもらう代わりに返礼品をしっかりと返すとして、あの還元をすることで、よりこれを充実する。また、外国人にも皆さんお世話になっているということで、今後、外国人と接するにはどうしたらいいかっていうことで、やっぱりこれも交流会をやったりとかですね。あと個人的にはですね、お互いの国の言葉を勉強し合って、よりコミュニケーション取りやすい状況を作り出すのもいいんじゃないかということで、話まとまってきました。

その他ということでですね、ちょっと意外と僕らこんなことやってたんですねってことで結構知らなかったことが多いということがわかったので、情報公開をしっかりやってくってことも大事だってことが見えてきました。あと今、小学校の方の活動として、板倉町の魅力を語らせたところですね。やっぱりお米、キュウリ、あとナマズなど。地球にすごく興味・関心を持ってたっていう子どもたちがいたということで、こういうことと絡めたイベントなんかもできたらいいんじゃないかっていうことで、町の協力を仰ぎたいと言えればいいかなと思います。あとですね、一般的なことなんですけども、ちょっと今、温暖化の影響で今まで以上に道路の草が、かなり通路の邪魔になってたりね、小学生の通学路の妨げになってたりもするので、こういう県道や国道の除草作業だとか、あとは個人的にはちょっと通学路に時計なんかがあると、班長をやったりする子どもたちの時間把握にも繋がっていいんじゃないかなっていうところで、僕の方の意見を出させてもらいました。